

庵我福祉だより

# しあわせ庵我

第43号  
令和元年8月  
発行  
庵我地区  
福祉推進協議会

## 「温故知新」「恩送り」

庵我地区福祉推進協議会(池部自治会長)



会長 塩見 明

「庵我地区自治会長会」会長「庵我地区福祉推進協議会」会長の職に就かせていただき数々の会議、行事に出席し庵我地区には「庵我地区福祉推進協議会」「庵我地区公民館」「消防団」を始め多くの組織があり、その中で皆様方が献身的に教育・福祉厚生活動やボランティア活動、防災活動等にご尽力されている姿を拝見させていただき、改めて皆様方に支えられて庵我地区の住民が安心安全に暮らせている事を実感し深く感謝しております。

一、温故知新(故きを温ねて新しきを知る)  
福知山市主催「庵我地区の講演会」、池部福寿会総会の「庵我ふるさと池部の歴史」桃映コミセンの「歴史講座」下猪崎の「歴史探訪」に参加させていただきました。講義の中で  
① 我郷の境は和久市村であった。

② 昔から福知山は由良川の氾濫により大きな被害を被っていた(特に庵我地区は遊水地帯になり被害が大きかった)が反面江戸時代には由良川は水運の大動脈で利水でもあった。

③ 桑蚕と圃場整備事業

④ 文化四年の大火により村(池部村、中村)全焼と村人の助け合いによる復興。

⑤ 季節託児所(寺)から保育園開設へ(沢山の方々の協力があつた)等、多くの庵我の歴史を知る機会を得ました。講師の先生方に感謝しあげます。

※先人の教えを学び現在に生かす。

① 相互扶助の精神

② 和の心(伝統の大切さ)

③ 水を治めて水を利用する

④ 庵我発信(庵我からピカリと光る物を発信する)

二、「恩送り」

「池部観音寺 観音講」の法話より

(布教師 建仁寺派 興雲庵)

住職 坂井田 泰仙師

「恩送り」とは

「物事には全て原因がある。「恩」とは原因の因に心と書く(先祖から繋がってきた縁により自分が有ると思え)人は一人では生きられない。見えない所で沢山のの人に恩を受けている。「恩」をお世話になった方に返せなくても、別の人や地域に返す事により「恩返し」になる。そうすれば「恩」は数珠つなぎで広がって行く」と教わりました。

結び

「恩」は心がこもっていないと「恩着せ」「恩を仇で返す」になってしまいます。日本の民話で「鶴の恩返し」があり先人は子供に幼少期から「恩」の大切さを読み聞かせして来ていました。私も沢山のの方々にお世話になりました。微力ではありますが少しでも庵我地区に恩返しが出来れば嬉しく思います。今後共、庵我地区の皆様には何かとお世話になります。宜しくお願ひ申し上げます。



あいさつで心をむすぶ

明るい庵我

地域ぐるみであいさつの輪を広げましょう

自分大好き!

なかま大好き!

ふるさと大好き! 庵我つ子

庵我小学校 教頭

溝口 直子



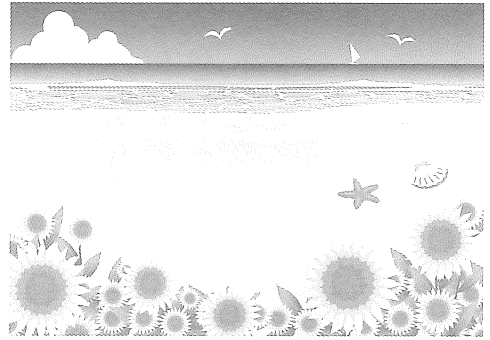
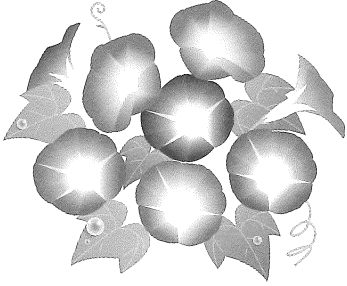
「行つてらっしゃい。」「がんばって勉強してきなよ。」「おもたちの一日は、黄色いベストを身につけた地域ボランティアアンガハッピー見守り隊の皆様、防犯推進委員の皆様、青色パトロールの皆様、家の前で待つていてくださる地域の皆様からの温かい声かけが始まります。」

学習においては、植物の栽培でクラブ活動で、極めて来られた分野を生かし子どもたちを的確に導いてくださるたくさんの学習支援ボランティアの皆様がおられます。

午後の授業が始まる前の10分は、読書ボランティアの皆様の読み聞かせでじんわりと心が温まる時間です。

藍・サツマイモ・枝豆・

かぼちゃ・・・子どもたちが楽しんで育てている作物の畑の周りには、環境ボランティアの皆様が作ってくださった立派な柵が立っています。



頭を悩ませている校地内の草を刈っていただいたこともありました。

庵我地区公民館、自治会、庵我児童館の皆様をはじめ地域の皆様とお話しさせていただくと、「子どもたちのために」という思いでいてくださるこ

とがいつも伝わってきます。なんて地域の温かさに包まれた学校なのでしょう!と、庵我小に勤めるようになって毎日のように感動しているところです。紙面ではございますが、改めて全ての皆様にお礼を申し上げます。

庵我小学校では「自分大好き! なかま大好き! ふるさと大好き! 庵我つ子」をめざす児童像とし、教育活動をすすめています。自分の優しさ・良さに気づくこと、勉強が分かること、好きなことを見つけること、夢を持つこと、そのどれもが自己肯定感を高め、自分の周囲や郷土をも大切にする人材の育ちにつながると思っています。めざす児童像実現のため、今年度も皆様のお力をお借りすることがたくさんあると思います。どうぞよろしくお願いいたします。



「庵我オーケストラ」  
楽器の音色に  
やさしさをのせて

庵我児童館長

今 福 香 保 里



として着任しました。

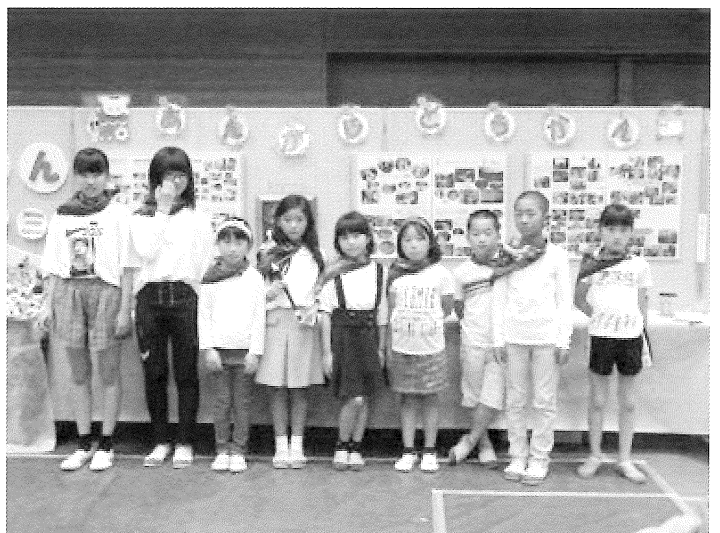
新しい元号が「令和」に決まった当日に庵我児童館長  
昨年度の水害の際の泥撤去を思いだし、新しく張替られた事務室の床や図書室のカーペットを見ながら、この綺麗になった状態が続きますように・・・と心の中で祈つての始まりでした。

それから五か月、子どもたちはもちろん、保護者の方、地域の方、関係機関の方々の御理解と御協力で、児童館活動を進めることができていることに、まずは紙面をお借りしてお礼申し上げます。

福知山市には10の児童館があり、それぞれの設置歴史を持ちながら、特色のある活動を進めています。今回、「しあわせ庵我」に寄稿の依頼をいただきましたので、庵我児童館の特色のひとつ「庵我オーケストラ」の活動を紹介させていただきます。

「庵我オーケストラ」は四年前に発足し、現在二年生から六年生の九人で活動しています。今年の六月一五日（土）に福知山市の児童館10館が合同で開催したイベント「第18回 やんちゃフェスタ2019」では、午後の児童館活動の発表で、庵我児童館の子どもたちの発表として、「今日から俺は」の主題歌『男の勲章』を演奏しました。月に二回の水曜日、友だちと遊びたい誘惑に打ち勝つて練習に励んできた子どもたち。念願だったボランティア指導者が見つかり、庵我小学校の先生の協力もあつて、最初なかなか合わなかったリズムが少しずつ合うようになって迎えた「やんちゃフェスタ」。当日は雨天だったので、普段野球をしている子ども、全員が揃って楽しんで発表することができました。いろいろな楽器の音色に庵我の子どもたちのやさしさがのって重なりひとつのメロディになり、多くの人からの拍手をいただき、ちよつぷり照れながらも嬉しい顔の子どもたちでした。「まとまっついてよかったよ」と他の児童館や学校の先生からの感想もいただきました。これから、九月には高齢者福祉施設への訪問や十二月一日の庵我児童館文化祭での演奏にむけて、練習を継続していきます。ご家庭での声かけや、地域の方からの励ましの言葉も応援をよろしくお願いいたします。

「令和」の時代が一人ひとりの個性が認められ、希望に満ちた災害のない時代となることを切に願います。



我々が目指す地域貢献

「庵我地域と共に」

社会福祉法人みつまみ福祉会

三愛荘施設長

足立裕幸

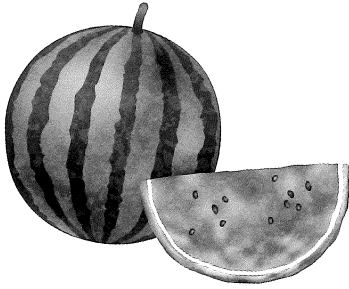


庵我地域の皆様におかれましては、平素より社会福祉法人みつまみ福祉会の運営に対しまして温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

この四月一日より特別養護老人ホームと養護老人ホーム三愛荘の施設長を兼務させて頂くことになりました足立裕幸と申します。不慣れではございますが、地域の皆様方のお力添えを頂きたく宜しくお願いいたします。

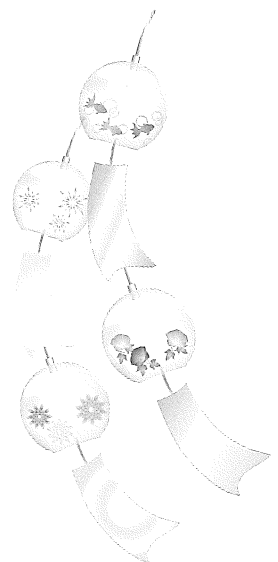
当法人は、猪崎の地に養護老人ホームを創立して今年で四十六年目を迎える事ができました。これも偏に地域の皆様方の温かいご支援の賜と深く感謝申し上げます。

さて今年度より庵我地区福祉推進協議会の一員として活動させて頂くこととなりました。近年、少子高齢化の進行や世帯構成の変化等により、



福祉・介護ニーズは多様化しております。さらに、団塊の世代が高齢期に入る二〇二五年には四人に一人が七五歳以上という超高齢化社会が訪れ、現状の福祉サービスだけでは補うことが困難な時代がやってきます。その為には制度だけではなく地域の皆様方の力が必要と考えます。これまで地域で貢献された皆様、住み慣れた地域でいつまでも安心して楽しく生き生きと過ごしていただけるよう、一人ひとりに寄り添った支援をして、共に学びながら地域の自助・互助の力を高め地域の課題に合った諸活動こそが地域貢献ではないかと考えています。

地域貢献を実践するにあたり、まず地域との関りがなければ何も始まりません。今までは、地域の方々に三愛荘の行事に参加して頂く事を中心に地域貢献活動と位置づけておりましたが、これからは地域の中に入り、これまで高齢者福祉で培ったノウハウを還元することで五年後十年後住みやすい地域となるようにと考えております。地域とのコミュニケーションの中からは、地域の皆さんが何を思い考えておられるのか、地域の課題を汲み取ることができると思っています。福祉(サービス)の一層の充実に努めこれまでと同様に地域の皆様の為に微力ではございますが努力して参ります。今後とも変わらぬご厚情ご指導を頂きますよう宜しくお願い致します。



編集後記

本号は新しい元号のもとで最初の発行となりました。令和の時代がより良い時代となりますよう気を引き締めていきたいと思えます。

さて、「しあわせ庵我令和元年八月第四十三号」の発行に際して、たくさんの皆様にご協力いただき誠にありがとうございました。

ご意見ご寄稿がありましたら、是非お寄せ下さい。元気で明るい地域作りに一層のご協力をお願いいたします。

令和元年八月

編集委員

- 塩見 明 今福香保里
- 足立 衛 塩見 雅邦
- 塩見美和子